

# がん政策サミット開催のご報告

## ～がん対策の歴史と今後の課題～

# 日本医療政策機構：ミッションと行動指針

## ミッション

市民主体の医療政策を実現すべく、中立的なシンクタンクとして、幅広いステークホルダーを結集し、社会に政策の選択肢を提供すること

## 行動指針

1. 特定の政党、団体の立場にとらわれず、中立性を堅持する
2. 幅広いステークホルダーを結集し、フラットな議論の場を提供する
3. **市民にとって最も重要な課題を特定し、活発な議論を促す**
4. グローバルな視野を保ち、世界の医療政策分野のリーダーと協業する
5. 政策提言のみならず、あらゆる活動において最高水準の質を目指す

# 市民医療協議会

## 市民医療協議会

市民・患者主体の医療を実現するためのプロジェクトチーム

患者会をはじめとする市民医療団体や、患者市民リーダーの活動を重要視し、協働を目指します。



# 市民医療協議会：主な活動

患者会運営支援

IT化支援

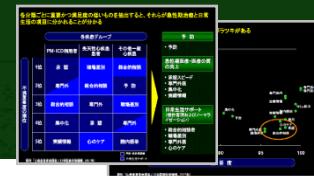
- ・PCの寄付
- ・ITスキル・トレーニング



意見集約支援

調査支援

- ・患者会アンケート
- ・世論調査



アドボカシー支援

提言活動支援

- ・疾患別シンポジウム
- ・政策ワークショップ



変革

市民主体の

支援プログラム



# 主な活動(1):患者会運営支援

## IT化支援

- ・PCの寄付
- ・ITスキル・トレーニング



## 事務機能支援

- ・オフィススペースの提供



## リーダーシップ研修

- ・Patient University



## 主な活動(2):意見集約支援

## 調查支援

- ・患者会アンケート
  - ・世論調査



# 啓発支援

- ## ・医療政策ガイドブック



# 意識共有支援

- ・患者リーダー・インタビュー
  - ・意見交換会



特集 「がん対策基本法」成立までの道のり



# 主な活動(3) : アドボカシー支援

## 提言活動支援

- ・疾病別シンポジウム
- ・政策ワークショップ



## 国際連携支援

- ・国際患者会シンポジウム
- ・患者リーダー海外研修



## 政策情報センター

- ・がん政策情報センター



都道府県別データ(2)

47都道府県 死亡改善度平均差(女性)

1997~2006年 10年間

都道府県別格差マップ(1)

47都道府県 死亡率格差(女性)

<http://ganselsaku.net/>

# がん政策情報センター

がん政策の現状

地域発の  
がん患者アドボカシーが  
必要

各県の創意工夫  
VS  
がん対策格差

都道府県がん対策推進計画

都道府県がん対策推進協議会  
(患者委員)

がん対策推進基本計画

がん対策推進協議会  
(患者委員)

がん対策基本法

がん患者アドボカシー

ウェブサイト



人的ネットワーク  
(県患者委員など)

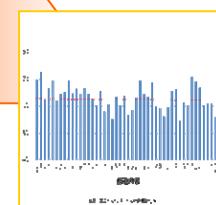


がんの地域格差



がん対策の  
均てん化  
(活動の基本構図)

全国「ベストプラクティス」



ゴール

がん対策推進基本計画の  
前倒し達成  
均てん化大国に

想定される変化

- ・各地に患者アドボケート誕生
- ・各選挙区からの声の高まり
- ・47都道府県 がん対策条例
- ・国の
- ・がん

活動内容(予定)

# がん政策サミット概要: 2008年9月27、28日

全国の都道府県がん患者委員が集結する唯一のこころみ

- ・20県から30名の患者委員が東京に集結(国 患者委員も参加)
- ・各都道府県のがん対策の現状や好事例を相互に紹介
- ・与野党国会議員が参画
- ・厚生労働省担当者、県庁がん対策担当者が参画
- ・患者委員が抱える悩みの共有と解決策を検討
- ・今後の相互協力を確認



# がん政策サミット: 当日の様子(1)

20県から30名の都道府県患者委員が東京に集結(国 患者委員も参加)



各都道府県のがん対策の現状や好事例を相互に紹介



# がん政策サミット: 当日の様子(2)

与野党国会議員が参画



厚生労働省担当者  
県庁がん対策担当者が参画



# がん政策サミット: 当日の様子(3)

今後の相互協力を確認



# 医療制度改革を主導する新しい流れ

これまでの流れ

医療提供者



省庁



政党委員会



改革

これからの流れ

市民・患者

メディア

政治家

国会

省庁

改革

- ・疾病構造の変化
- ・限られた財源

# がん対策基本法成立へ(1)

市民・患者

2001年2月 痛と共に生きる会、癌治療薬早期承認を求める会  
「抗癌剤及び副作用防止薬の早期一括承認を求める署名活動」  
緊急措置請求書を坂口力厚生労働大臣(当時)に提出

市民・患者

2003年5月 日本がん患者団体協議会  
「がん対策の日本癌治療薬承認を求める請願書」大相撲

メディア

市民・患者も参画

## がん対策基本法成立へ(2)

2004年7月 日本医療政策機構シンポジウム  
「患者が求めるがん政策：  
わが国で整備すべき患者向け情報は何か」開催

市民・患者も参画



2004年7月 日経ビジネス

メディア

市民・患者も参画

市民・患者

## がん対策基本法成立へ(3)

2005年4月 NHKスペシャル  
「日本のがん医療を問う」放映

メディア

2005年5月 厚生労働省  
「がん対策推進本部」設置

市民・患者も参画

市民・患者

メディア

## がん対策基本法成立へ(4)

2005年6月 公明党  
「がん対策プロジェクトチーム」設置

市民・患者も参画

2006年1月 公明党・神崎代表が衆院代表質問で  
「がん対策法」の制定を提唱

市民・患者

メディア

市民・患者も参画

## がん対策基本法成立へ(5)

2006年3月 自由民主党、公明党  
「がん対策の与党プロジェクトチーム」設置を決定

市民・患者も参画

2006年4月 民主党  
「がん対策基本法案」衆院提出

市民・患者も参画

## がん対策基本法成立へ(6)

2006年6月　自由民主党、公明党、民主党  
「がん対策基本法案」衆院厚労委員長提出で一致

2006年6月　衆院厚労委、参院厚労委  
「がん対策基本法」全会一致で可決

# がん対策基本法 概要(1)：総則

## 目的

我が国のがん対策がこれまでの取組により進展し、成果を収めてきたものの、なお、がんが国民の疾病による死亡の最大の原因となっている等がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん対策の一層の充実を図るため、次に掲げる事項を定めることにより、がん対策を総合的かつ計画的に推進する。

## 基本理念

## 関係者の責務など

## がん対策基本法 概要(2)：基本計画など

### がん対策推進基本計画

- 厚生労働大臣は、関係行政機関の長と協議するとともに、がん対策推進協議会の意見を聴いて、がん対策推進基本計画の案を作成し、閣議の決定を求めるなどとする。
- 厚生労働大臣は、関係行政機関の長に対し、がん対策推進基本計画の実施などについて、必要な要請をすることができる。

都道府県は「都道府県がん対策推進計画」を策定

### がん対策推進協議会

協議会の委員は、がん患者およびその家族または遺族を代表する者

# がん政策サミット概要を振り返る

全国の都道府県がん患者委員が集結する唯一のこころみ

- ・20県から30名の患者委員が東京に集結(国 患者委員も参加)
- ・各都道府県のがん対策の現状や好事例を相互に紹介
- ・与野党国會議員が参画
- ・厚生労働省担当者、県庁がん対策担当者が参画
- ・患者委員が抱える悩みの共有と解決策を検討
- ・今後の相互協力を確認



がん対策推進基本法  
成立  
(2006)

→ 国の協議会への  
患者参画が法制化  
(2006)

→ 都道府県の協議会への  
患者参画が常識に  
(2007~)

# がん政策サミットを振り返る(1)

20県から30名の都道府県患者委員が東京に集結(国 患者委員も参加)



各都道府県のがん対策の現状や好事例を相互に紹介



# がん政策サミットを振り返る(2)

今後の相互協力を確認



ありがとうございました

